

ISO/TC 68 国内委員会総会 議事録¹

日 時：2020 年 6 月 18 日（木）14：00～17：00
場 所：日本銀行本店（電話会議）
出席者：ISO/TC 68 国内委員会 委員・リエゾン・事務局
日本銀行 金融研究所長・情報技術研究センター長ほか

- 2020 年 6 月 18 日に開催された ISO/TC 68 国内委員会（以下、当委員会）の議事の模様は以下のとおり。

1. 開会挨拶

ISO/TC 68 国内委員会委員長の松本横浜国立大学教授、日本銀行金融研究所の関根所長および井上情報技術研究センター長が開会挨拶を行った。

—— 松本委員長は、新型コロナ禍での試みとして、電話会議システムを用いた初めての総会開催となった。円滑な議事運営により、しっかり議論していきたい、と述べた。

—— 関根所長は、この 3、4 か月を振り返ると、オンライン会議の活用により、新型コロナ禍の中でも ISO/TC 68 の国際標準化活動は止まっておらず、着実に議論が進んでいる。そうした中で、国内関係者の情報セットを一つにしておくことは重要であると考え、今回は電話会議により総会を開催することにした。活発な意見交換を通じて情報共有を図っていただきたい、と述べた。

—— 井上センター長は、新型コロナウイルス感染症が広がる中で金融サービスのペーパーレス化の必要性が叫ばれており、これを進めるにあたっても、金融データに関する規格の標準化は重要な役割を果たし、TC68 の活動の意義が一段と高まっていると言える。標準化に関する内外の取り組みに積極的にご参画いただければ、事務局として幸いである旨、述べた。

¹ ISO（the International Organization for Standardization：国際標準化機構）/TC 68（金融サービス分野の専門委員会）は、金融業務に利用される情報通信技術、情報セキュリティ技術等を対象とする専門委員会。

2. 事務局および国内作業部会委員からの報告、議題

新型コロナウイルス感染症の影響について、ISO 中央事務局から ISO 会合を 2020 年 9 月末まで対面会合禁止するとの通達が発出されたことを受けて、全ての ISO 会合はバーチャル開催とすることが決定されたこと、TC68 総会の開催日を 2020 年 5 月から 9 月に延期すると決定されたこと、を事務局が報告した。

続いて、2020 年 5 月 12 日にオンラインで開催された ISO 20022 RMG 会合での討議内容や Payments SEGs ほかに部門毎の足許の動向について、ISO 20022 RMG 副議長の田貝氏および事務局が報告を行い、対応する国内作業部会の各委員からも具体的な説明が行われた。

このほか、最近の ISO/TC 68 の動向についても、国際投票状況を踏まえた個別の報告を TC 68 傘下の WG 毎に事務局が行い、対応する国内作業部会の各委員からも具体的な説明が行われた。

最後に、前回総会（2019 年 12 月）議事録、前回総会以降にメール審議を実施した国際投票案件の状況および 2019 年度 ISO/TC 68 活動報告資料について、席上で確認を行った²（別添資料 1 を参照）。

3. リエゾン報告

① ISO/TC 307（Blockchain and Distributed Ledger Technologies）

ISO/TC 307 国内審議委員会の楠委員長より、別添資料 2 に基づき、TC307 の最近の動向について報告が行われた。

② ISO/IEC JTC1³/SC 17（Cards and Security Devices for Personal Identification）

ISO/IEC JTC 1/SC 17 国内委員会の廣川委員長より、別添資料 3 に基づき、SC 17 の最近の動向について報告が行われた。

③ ISO/IEC JTC1/SC 37（Biometrics）

ISO/IEC JTC 1/SC 37 専門委員会の新崎委員長より、別添資料 4 に基づき、SC 37 の最近の動向について報告が行われた。

² 国際規格の開発には、以下の 6 段階のプロセスがある※。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。

※ 必要に応じて、DIS 投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7 段階のプロセスとなる。

³ ISO と IEC（International Electrotechnical Commission：国際電気標準会議）との合同技術委員会。

4. 講演／経済産業省

経済産業省産業技術環境局国際電気標準課（JISC）の林課長補佐より、別添資料 5 に基づき、中国の標準化活動の状況を含む最近の国際標準化にかかる世界の動向や、日本でのキャッシュレス決済の動きについて報告があった。加えて、2020 年版 ものづくり白書の内容を基に、日本としての課題や企業として取り組むべき課題についてご講演をいただいた。

5. 当委員会事務局からの連絡

次回の ISO/TC 68 国内委員会の開催時期は別途連絡するとした。

以 上